

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名【新】保育士の心のケア推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 保育支援係 電話番号：058-272-1111(内3536)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,443 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,443	2,017	0	0	0	0	0	0	2,426
決定額	2,272	1,136	0	0	0	0	0	0	1,136

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

多様化・複雑化する保育環境において、職員は、園児や保護者の対応等への対応、人間関係、職場環境等多くの悩みを抱えている。「誰でも通園制度」の創設など、今後、保育に求められる役割が大きくなっていくことが見込まれる一方で、保育士不足は喫緊の課題となっており、保育従事者の新規獲得とともに、現役の保育従事者の離職防止は非常に重要である。そこで、県臨床心理会と連携して、保育士が心の悩みを相談できる場を設け、保育士の心の安定及び離職防止を図り、ひいては園児の虐待等事故を未然に防止し、教育・保育の質を維持する。

(2) 事業内容

保育士の心理的負担に対する臨床心理士による無料相談を実施する。

対象者：県内保育施設(保育所・認定こども園・地域型保育事業・認可外保育施設)に勤務する保育従事者(常勤・非常勤問わず。)

件数：225件(75件×3回)

経費：報償費(1回あたり)…11,000円

費用弁償(1回あたり)…3,611円

使用料(1回あたり)…1,000円

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

<保育対策総合支援事業費補助金(保育士・保育の現場の魅力発信事業)>

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,475	相談報酬
旅費	813	費用弁償
使用料	115	相談室使用料
需用費	1,040	周知用広報物
合計	4,443	

決定額の考え方

試行的に実施することとし、1件あたり2回分の予算を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・岐阜県少子化対策基本計画（第4次）において、保育士の人材確保を明記。

(2) 後年度の財政負担

事業の活用状況及び保育士の離職状況を踏まえながら事業内容について検討する。

(3) 事業主体及びその妥当性

保育士不足は喫緊の課題であり、新規獲得と併せて現役保育士の離職防止に寄与する事業を県が主導することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 保育士の心理的負担に対する臨床心理士による無料相談を実施する。

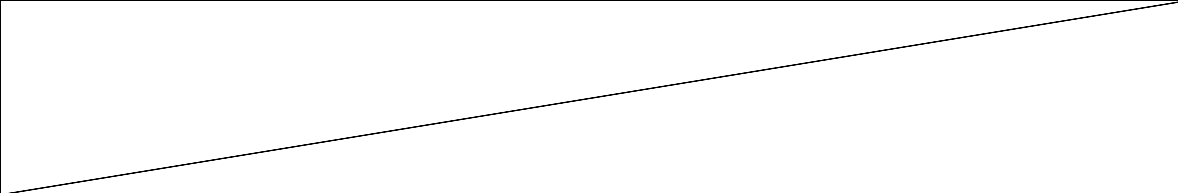
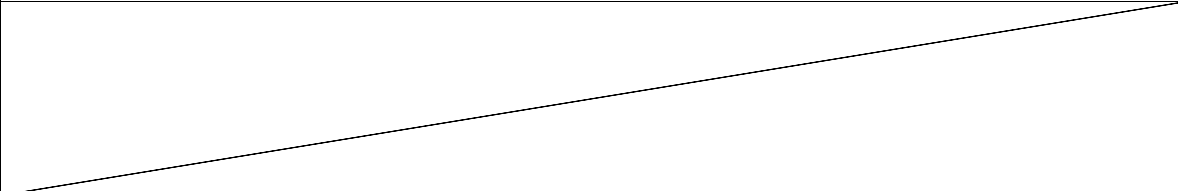
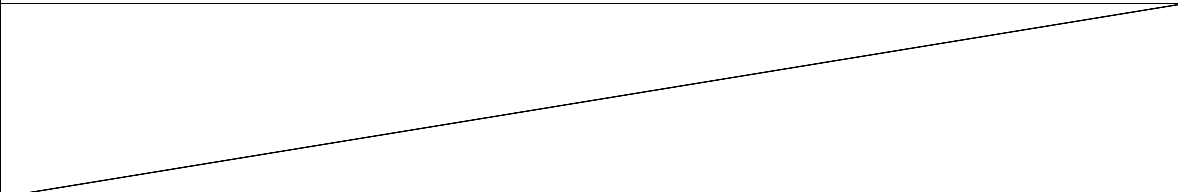
（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

保育士の心理的負担に対する専門家相談を行うものであり、指標を設定することになじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	<p>3</p> <p>バスの置き去り事故や不適切保育の発生など、保育従事者を取り巻く環境は厳しく、加えて多様化する保育ニーズ等により、保育士の負担は増加する一方である。特に心理的負担については、解決が図りづらく、離職の要因になりかねないため、専門家に相談し、心理的負担の軽減を図る本事業は必要性が高い。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 保育士の離職防止につながるため、継続的な実施が必要。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>私立幼稚園教員の心のケア推進事業 【私学振興・青少年課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>各課の所管分野から支援を行うことで幅広く教育・保育施設で働く職員のケアが可能になる。</p>